

相模川水系殿入川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

位置図



索引図



富士吉田市

殿入川

欄干川

国道139号

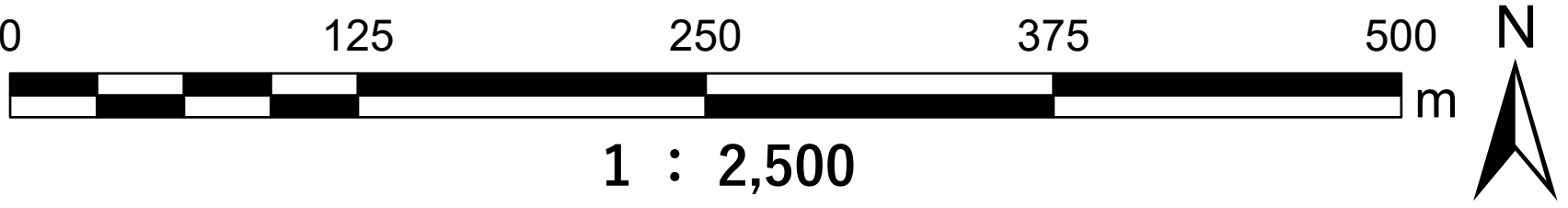
凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満

洪水浸水想定区域の指定の
対象となる河川

河川等範囲



1 : 2,500

相模川水系殿入川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1 説明文

- この図は、相模川水系殿入川の山梨県管理区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図等は、指定時点の殿入川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により殿入川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項

- 作成主体 山梨県
- 指定年月日 令和7年6月25日
- 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- 対象となる河川 相模川水系殿入川

(実施区間)

左岸：山梨県富士吉田市上暮地字殿ノ入1576番2地先から欄干川への合流点
右岸：山梨県富士吉田市上暮地字殿ノ入1568番地先から欄干川への合流点

- 指定の前提となる降雨 柄杓流川流域 690mm / 1日
- 関係市町村 富士吉田市

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 6JHs 500）

※A1出力時は1:2,500、A3出力時は1:5,000